



エコパートナーシップうじたわら

うじたわらの木くん

～茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち～

発行日：平成25年1月13日（第47号）

編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会
事務局 TEL (88) 6639 FAX (88) 3231

温室効果ガス2011年度集計（速報値）

環境省は12月5日に2011年度（平成23年度）の国内の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で前年度と比較して、3.9%増の13億700万tとなり、京都議定書において削減が義務付けられた2008年度（平成20年度）以降では、最も多い排出量になったと発表しました。増加した主な要因は、原子力発電が一部を除き停止したことで、火力発電による化石燃料の消費が増えたことと分析しています。京都議定書の基準年である1990年度（平成2年度）と比較すると、3.6%増加したことになります。

現在、日本は2008年度（平成20年度）から2012年度（平成24年度）の間に、温室排出ガス排出量を平均で1990年度（平成2年度）比6%削減することを目指しています。これまでの実績から達成可能との見方もありますが、2012年度（平成24年度）も原子力発電のほとんどが稼働していない状況であることから考えると、さらに排出量が増えることも予想されます。

環境省では省エネ努力に加えて、森林が吸収する量や、海外から購入する排出枠等を合わせると、2008年度（平成20年度）～2011年度（平成23年度）の4年間平均で、9.2%削減したとしています。

4年間平均9.2削減の算出根拠は以下のとおりです。

①基準年度の温室効果ガス排出量	12億6100万t
②目標値(6%削減)	11億8600万t
③4年間の排出量合計	50億5200万t
④4年間の森林吸収量合計	1億9068万t
⑤4年間の <u>京都メカニズム</u> 合計	2億8005万t
(③-④-⑤)÷4	≒ 11億4500万t (9.2%削減)

※京都メカニズムとは？

国内での単なる排出量削減を除く植林活動や、国外での活動、削減量の国家間取引など、温室効果ガスの削減をより容易にするための規定で、柔軟性措置とも呼ばれる。

～自然環境体験ハイキングの中止について～

11月17日（土）に予定しておりました高尾地区への自然環境体験ハイキングは、当日の悪天候により中止させていただくこととなりました。

なお、日程等を再調整し、春頃に実施する方向で検討しておりますので、開催日等が決まりましたら本会報誌にて改めて募集させていただきます。

参加申し込みいただきました方々につきましては誠に申し訳ございませんでした。

エコクッキング教室を開催します

エコパートナーシップうじたわら循環型社会・地球温暖化防止部会では『生ごみを出さない生活』、『自然食材の活用』への取り組みとして恒例となりましたエコクッキング教室を下記の日程にて開催します。

今回のテーマは、昨年冬に引き続き“お正月食材の活用”として、お餅、黒豆、古老柿などを使ったメニューや“地産地消の取り組み”として宇治田原産の野菜を使ったメニューを参加者の皆様とアイデアを出し合いながら調理していきたいと考えています。

多くの皆様のご参加お待ちしております。

【日 時】平成25年2月24日（日）午前9時～午後2時
 【場 所】維孝館中学校 調理室 【参加費】一人500円
 【締め切り】平成25年2月22日（金）
 【申込・問合わせ】エコパートナーシップうじたわら事務局
 宇治田原町役場 建設・環境課
 TEL 0774-88-6639
 E-mail junkan@town.ujitawara.kyoto.jp



【昨年冬のエコクッキングの様子】

次の方・団体から24年度賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

宇治田原町区長会、宇治田原町森林組合、宇治田原町商工会、宇治田原工業団地管理組合、
 株式会社宇治田原製茶場、協栄開発株式会社、JA京都やましろ宇治田原町支店、株式会社馬場義電気
 株式会社播磨園製茶、株式会社堀口新聞販売所、米田造園土木株式会社、有限会社富山資源開発、
 濱田プレス工藝株式会社

※平成24年11月現在（敬称略・順不同）



どんぐりの森づくり

10月20日(土)に、くつわ池自然公園で毎年恒例の自然環境体験学習会『どんぐりの森づくり』が開催されました。

晴天の下、参加者は1年間かけて育てた苗木を山の斜面に植樹後、来年用に育てるどんぐりの実をプランターへと植える作業を行いました。

エコパートナーシップうじたわらでは、今後も本町の豊かな森林資源を未来へ引き継いでいくための活動を、支援していきたいと考えています。

ふるさとまつりに出展しました

10月21日(日)に総合文化センターで開催されました『宇治田原ふるさとまつり』にエコパートナーシップうじたわらから、初めてとなる展示ブースを参加しました。

近年、間伐材の有効活用として注目を集めている薪ストーブ、宇治田原町の自然景観・生活環境の写真、町内に棲息する生物の写真などを展示しました。ご来場いただきました方々にはご理解いただいたのではと考えています。



出前講座

10月24日(水)、エコパートナーシップうじたわら広報部会では、立川平岡公民館で開催された『やよいサロン』環境学習会に講師としてエコパートナーシップうじたわらの芦原会長を派遣しました。『身近な環境問題について』と題し、エコライフについての具体的な取り組み方法、環境家計簿の活用法、太陽光発電設備をはじめとする環境部門における町の補助制度について講演させていただきました。

エコパートナーシップうじたわらでは、今後も各地区やグループごとの環境学習会にも講師を派遣していきたいと考えております。

環境学習会(エコカー体験)

11月12日(月)、エコパートナーシップうじたわら循環型社会・地球温暖化防止部会は、田原小学校にて環境学習会を開催しました。

工業団地にある株式会社レポインターナショナル様にご協力いただき、5年生児童がバイオ燃料を使用したエコカー(ゴーカート)の試乗体験を通し、環境を守ることの大切さについて学習しました。また、バイオ燃料は飲食店や各家庭から出る使用済み天ぷら油を回収精製し、リサイクル使用していることなどについての話をさせていただきました。

なお、使用済みの天ぷら油の廃棄については、町内の各公民館などに回収ボックスを設置しておりますので、ご利用ください。



☆エコパートナーシップうじたわらへのお問い合わせ☆

入会・応募などのお問い合わせ先: エコパートナーシップうじたわら事務局 (宇治田原町建設・環境課内)
〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10
TEL 0774-88-6639 FAX 0774-88-3231
Eメール: junkan@town.ujitawara.kyoto.jp



茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原